

(仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会の これまでの検討経過のまとめ

(仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会での検討経過について

回次	開催日	議題
第1回	令和6年8月26日	テーマ「これまでの検討成果や現状を確認しよう！」 (1) (仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会規約(案)について (2) 座長、副座長の選出について (3) (仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会のスケジュール等について (4) 光が丘地区学校跡施設利活用事業のこれまでの経過と今後の方針について (5) 光が丘公民館の現状について (6) 複合施設を検討する際の視点
第2回	令和6年9月23日	テーマ「新しい光が丘公民館について考えよう！」 (1) 参考事例(星が丘公民館)について (2) グループワーク「あなたが行きたくなる光が丘公民館とは？」 (3) 青葉児童館の現状について
第3回	令和6年11月29日	テーマ「複合施設について考えよう！」① (1) 今後の検討会の進め方について (2) 光が丘地区学校跡施設(青葉小学校)の配置計画等について (3) (仮称) 光が丘地区複合施設整備プランの考え方について
第4回	令和6年12月26日	テーマ「複合施設について考えよう！」② (1) 参考事例(和泉短期大学キャリアデザインセンター)について (2) 複合施設整備プラン(案)について
第5回	令和7年1月30日	テーマ「複合施設について考えよう！」③ (1) 敷地配置計画への意見について (2) 複合施設整備プラン(修正案)について

➡ 次のスライドから、これまでの検討の成果を、基本計画の構成をイメージした順に並べ替えて振り返ります。

本事業の概要と令和5年度までの検討経過

事業の背景と目的

背景と目的

本事業は、光が丘地区内の子どもに関する公共施設の老朽化に加え、小・中学校の児童生徒数の減少に伴う小学校の再編を背景に今後未利用となる見込みの公共施設（既存ストック）を有効活用し、子どもに関する施設を中心とした公共施設の再編を行うことで、将来にわたり、持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。



光が丘・陽光台・並木・青葉小学校

小・中学校の児童生徒数の減少に伴う学習環境のあり方の検討を行い、市教育委員会において、令和7年3月を目途に、青葉小学校を閉校し、光が丘小学校、陽光台小学校、並木小学校に再編するという対応方針を定めたところです。



療育センター陽光園、陽光台保育園など子どもに関する公共施設の多くが築40年以上を経過しており、建て替えなどを検討する時期を迎えています。

【取組の方向性】

今後、閉校することになる青葉小学校の学校跡施設は、

「避難所としても使える、子どもや地域の活動の場」

を基本とした利活用を検討。

光が丘地区公共施設再編事業の取組経過

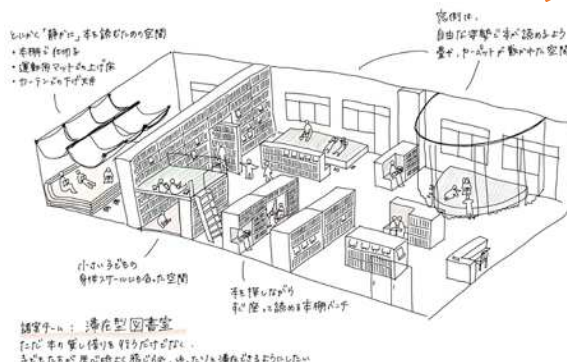
R3年度 市民対話ワークショップ

R4.8月 基本構想の策定

R4年度 市民検討会、こどもWS



《市民検討会》



市民検討会の成果

市民検討会等のまとめ

【地域・子ども活動機能】

- ・学校が担ってきた地域コミュニティの場としての役割や子ども・若者を育む拠点として、次の機能を導入します。
- ・子どもたちや子どもの育成等を目的とした団体の利用のほか、全年代の地域の皆様が利用できる施設を想定しています。

地域・子ども活動機能に必要な主な諸室等

滞在型図書室、保育室・遊戯室、防音多目的室、調理室・ランチルーム、体育館、グラウンド、くすの木周辺等

《R5年度》

築40年以上が経過している既存の校舎に必要な改修を行ったうえで、「地域・子ども活動機能」をB棟、療育センター陽光園、保育園等の機能をA棟、C棟に配置することを基本とし、R5年度中の基本計画策定を目指して計画の素案を作り、庁内検討を行いました。

庁内検討を踏まえた今後の取組の方向性について

《庁内検討内容》

- ・「地域・子ども活動機能」と「公民館機能」は、同一の場所にあることで、より利便性が高められ、連携しやすいと考えられること。
- ・青葉小学校の利活用に向けた改修とほぼ同時期に、光が丘公民館の長寿命化改修が必要なこと。



《取組の方向性》 ※令和5年12月21日戦略会議にて決定

- 光が丘公民館を青葉小学校の跡地に移転します。
- 小学校のB棟を解体し、「公民館機能」、「地域・子ども活動機能」「青葉児童館の機能」に必要な建物を新築します。
- A棟・C棟は、療育センター（陽光園）、保育園等として活用します。
- 未利用となった土地は売却等により、事業の財源として活用します。

※計画には、（仮称）光が丘地区複合施設市民検討会についても記載します。

光が丘地区の現状について

光が丘地区の現状と課題

1 光が丘地区の概要

光が丘地区 の特性

光が丘地区は、昭和30年代後半から急速な市街化が進み、住宅中心の街並みが形成され、人口増加とともに、地域団体が協働して活発な活動が展開されている地区です。

人口減少 ・ 少子高齢化

2025年時点では25,475人の見込みですが、40年後の2065年には15,289人になると予想されています。

高齢化率は、2043年にピークを迎え、約46%程度で推移する見込みです。

2 公共施設等の概要

○ 光が丘地区の公共施設

小学校、中学校、公民館、こどもセンターなどの地域施設が点在するほか、療育センター陽光園や陽光台保育園などの広域施設が立地しています。

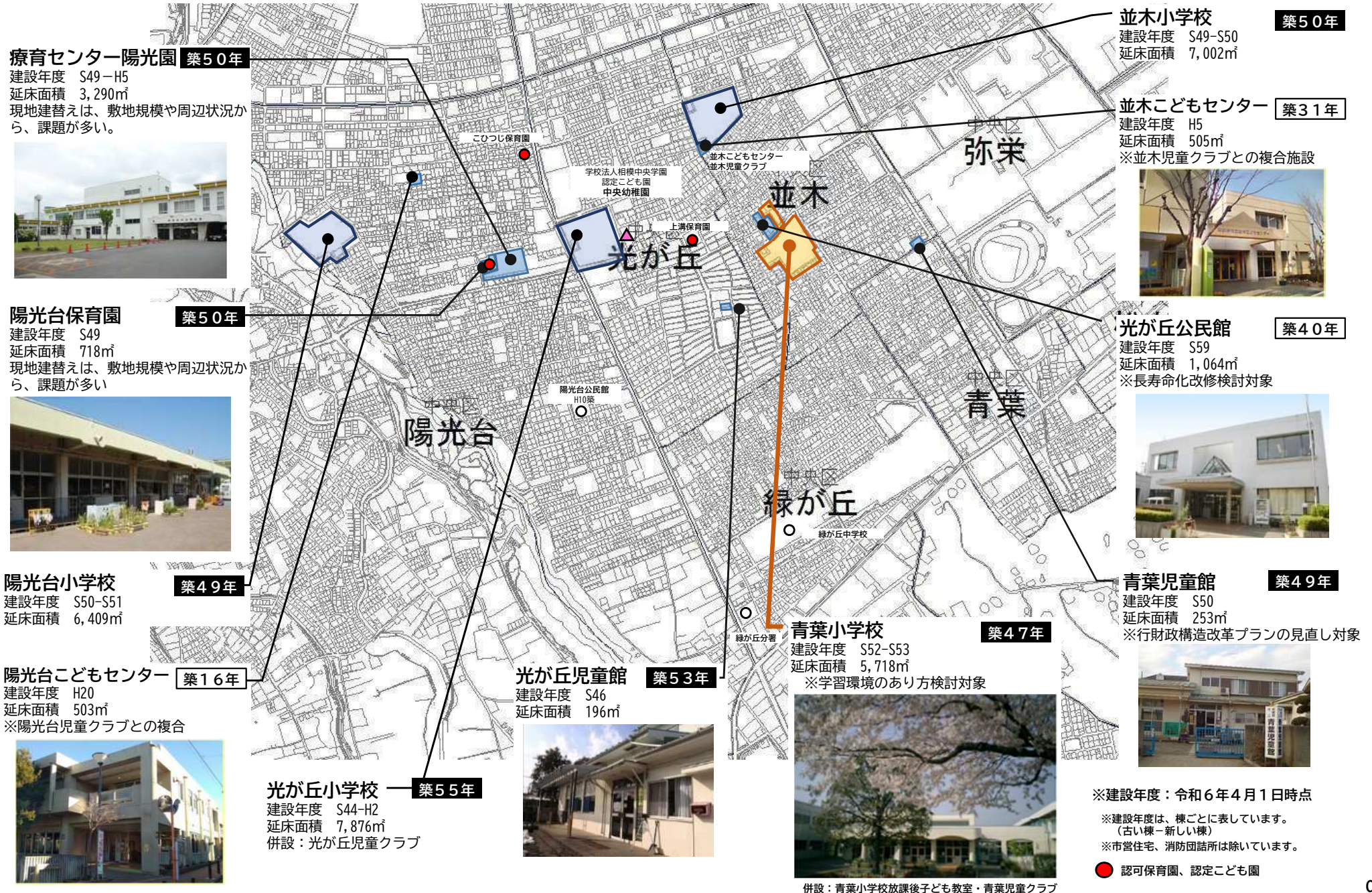
市が保有する地区内の公共施設は約67%以上が築40年を超えており老朽化が進んでいます。

○ 集約化する公共施設等の概要

療育センターと障害者更生相談所は、療育が必要な方々や障害児者への支援・相談業務などを行っています。陽光台保育園は定員120人の市立保育園です。

光が丘地区の公共施設配置図

第1回 資料3



光が丘公民館の概要について

- ・ 所在地 相模原市中央区並木4－7－9
- ・ 開館日 昭和60年4月1日（昭和52年4月1日設置）
- ・ 災害対策 現地対策班、風水害時避難場所
- ・ 管区の人口（R6.4.1現在） 16,297人（旧市域20位）
- ・ 管区の区域
光が丘1～3丁目、並木1～4丁目、青葉1～3丁目、
緑が丘1～2丁目
- ・ 登録団体数（R6.4.1現在） 159団体（旧市域15位）
- ・ 延床面積 1063.97㎡
- ・ 貸室面積 447.36㎡（6室）
- ・ 駐車場台数 22台
- ・ 利用状況（令和5年度）



	貸館利用状況			図書室利用状況		
	利用団体数	利用率	利用人数	蔵書総数	貸出者数	貸出冊数
光が丘 （旧市域順位）	3,714団体 （14位）	48.6% （8位）	42,869人 （12位）	14,455冊 （18位）	6,844人 （16位）	20,138冊 （18位）
旧市域平均	4,116団体	46.0%	45,565人	15,978冊	10,021人	31,606冊

※旧市域の公民館は23館（図書室設置は19館）

青葉児童館の概要について

- 所在地 中央区並木3-18-16
- 設置年度 昭和50年4月1日
- 敷地面積 482.05㎡
- 延床面積 253.45㎡



令和5年度青葉児童館利用実績

	幼児	小学校	中学生	高校生	大人	一般来館者合計	専用利用
延人数	41人	1738人	1059人	8人	907人	3753人	1038人
1日平均	0.1人	4.9人	3.0人	0人	2.5人	10.5人	2.9人
全児童館の平均	1.8人	15.4人	1.8人	0.2人	3.7人	22.9人	30.0人

整備の方向性

敷地利用の前提となる考え方

【基本理念】

光が丘ランドマーク

～ 子ども達がつくり 活躍し ずっと続いていく
共にささえあい みんなが笑顔になれる 陽だまりのような場所 ～

【方針（視点）】

- 方針1 地域とともに子どもを育む拠点として活用します
- 方針2 災害時の拠点として活用します
- 方針3 地域の魅力やゆるやかな繋がりを大切にします
- 方針4 青葉小学校のストックを大切にします
- 方針5 時代に即したやさしい施設にリニューアルします

【導入機能】

- ① 療育センター・陽光園及び障害者更生相談所の機能
- ② 陽光台保育園の機能
- ③ 市民活動機能
- ④ 災害機能

【敷地利用計画】

【利活用エリア】

再編・再整備を行う公共施設の規模や機能等を踏まえ、既存の校舎B棟及びプール等は解体して、青葉小学校用地を「改修エリア」と「新築エリア」に分けて、施設整備を行います。

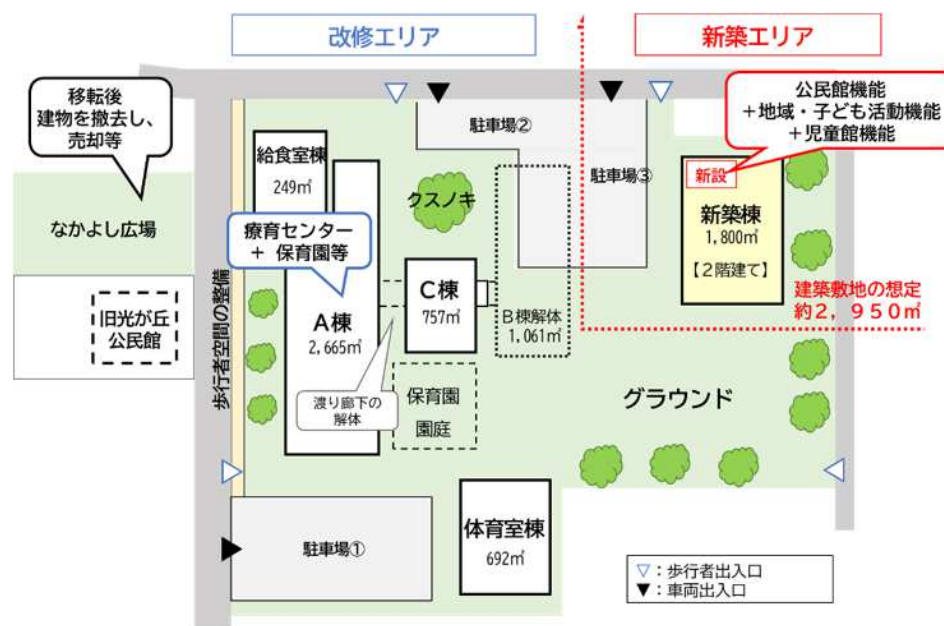
【売却エリア】

再編後に発生する未利用資産（光が丘公民館、なかよし広場、療育センター・陽光園、陽光台保育園の敷地）は、青葉小学校跡地の新施設整備に多額の費用がかかることが見込まれることから、公共施設の保全・利活用基本指針に則り売却により事業の財源として活用します。

■ 現状（青葉小学校）



■ 土地利用計画（案）



複合施設の配置について

■法令への適合

- ・本事業は、既存施設を用途変更して利用するため、法令に適合する状態となるよう敷地を区分（分割）する。
- ・大きくは改修棟を中心とした敷地（改修エリア）と、複合施設の敷地（新築エリア）に区分し、さらに、改修エリアも2つの敷地に分割する必要がある。
- ・各敷地がそれぞれ接道し、建蔽率、容積率、日影等の建築基準法上の規制に対応するよう敷地境界線（分割線）を設定する。

■全体区域の考え方

- ・一般に開放する『自由に出入りが可能な区域』と、療育センター陽光園や保育園等の『関係者以外の立ち入りを制限する区域』を明確に設定することで、地域に開かれた空間でありながら、セキュリティを重視した配置とする。

■駐車場について

- ・歩行者と自動車の動線が極力交わらず、敷地内を自動車が走行する距離を短くするよう配置する。
- ・3か所設置することで分散化し、利用者や周辺住民に配慮した配置とし、非常時等には相互利用を考慮した動線を確保する。（保育園の駐車場は、駐車待ちの列を道路に作らないよう、十分な台数を確保）

複合施設の配置について

■市民対話等による意見

- ・ 「クスノキ」は、青葉小学校のシンボルであり、地域の愛着も強いいため、今後も施設全体のアイコン、シンボルとして維持・活用する。
- ・ 学校の東及び北側に歩道を自主整備し、開放的で安全性の高い歩行空間を実現する。
（これにより、車両が通行する部分も広がる。）
- ・ 砂ぼこりによる周辺への影響を抑えるため、グラウンドと住宅が接する長さを短くする。（可能な限り、広く整形なグラウンドを確保する。）

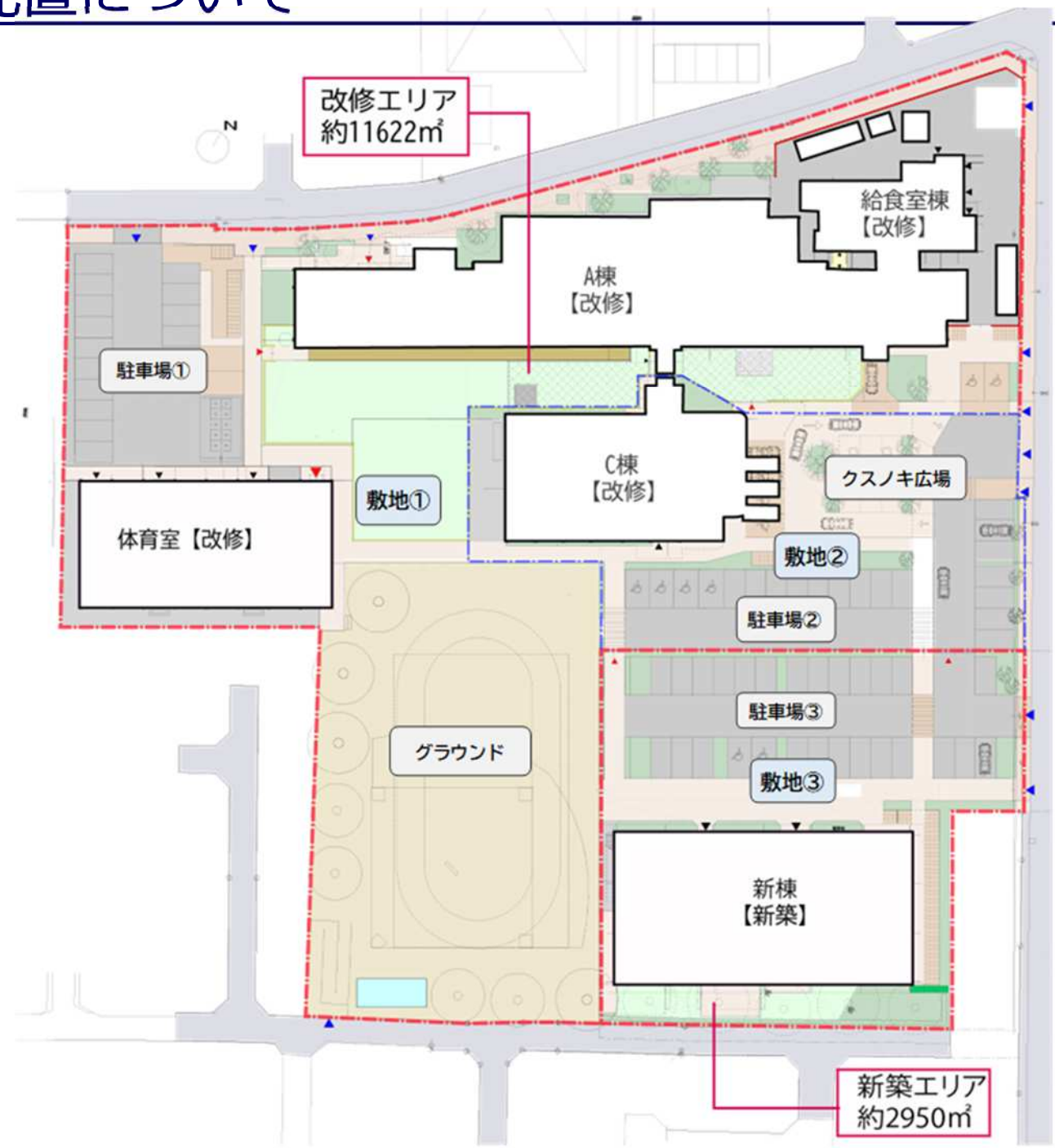


様々な要因を勘案し、総合的に判断

○複合施設の敷地については、導入規模や関係法令等による制限を踏まえつつ、効果的・効率的な敷地規模を確保する。

○複合施設の配置は、施設の独立性確保、直接道路にアクセス可能な動線の確保、駐車場利用や歩行者動線の面で有利な現在の校庭の東南角とする。

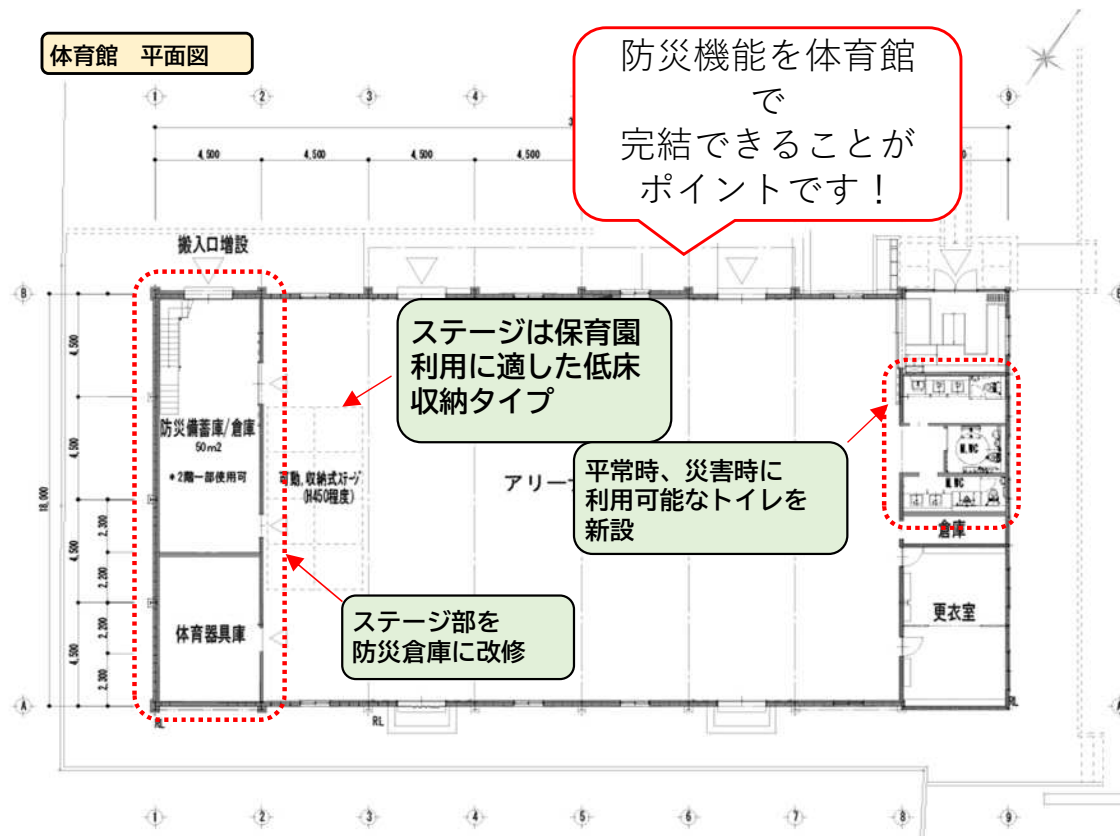
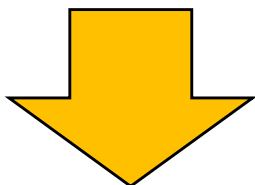
複合施設の配置について



体育館の改修内容について

(体育館・現況の課題)

- ・アリーナ部分は保育園と地域活動の場として利用する想定である。ステージ部の利用頻度は低くなる想定であり、保育園用のステージとしては高く安全性に課題がある。
- ・既存防災倉庫、屋外トイレは、移設困難であり、プールの撤去工事の障害になる。
- ・災害時の生活用水として利用予定だったプールを解体するため、補完する必要がある。



【改修内容】

- ・ 保育園、地域活動、避難所としての快適性向上を考慮して、空調機器を設置する。
- ・ 現在のステージ部を防災倉庫に改修する。（撤去する防火倉庫の補完）
- ・ 出入口側にトイレを新設する。（撤去する野外トイレの補完）
- ・ 保育園駐車場から直接アクセス可能な開口を設置する。
- ・ ステージは保育園利用に適した低床収納タイプで計画する。
- ・ 避難所機能としての水の確保方法は、ペットボトルでの確保など別途検討する。

(仮称) 光が丘地区複合施設整備プランの考え方

■ 複合施設の建物の条件

- 施設の規模は延床面積1, 800㎡を目安に検討を行います。また、各機能の規模は、現光が丘公民館、市内の児童館の平均的な規模を目安に検討を行います。
- 最高高さ制限（10m）を考慮し、総2階建てで検討します。
- 児童館機能はにより600㎡以下とします。用途制限、開館時間や履物（土足、下足）の違い等から児童館機能部分と公民館機能部分は区画し、独立して運用可能な形態とします。

■ 複合施設の階層配置

- 児童館機能は、用途制限やグラウンドとの連携を図るため、1階に配置します。
- 公民館機能は、児童館機能を除いた1階と2階に配置します。また、第2回検討会で多かった御意見を踏まえ、図書室は1階に配置します。

【複合施設階層イメージ】



(仮称) 光が丘地区複合施設整備プランの考え方

■ 複合施設の主な諸室（案）

1 階

児童館機能の各諸室や、公民館事務室、図書室、フリースペースなど、管理機能や多世代の利用を想定する諸室等で構成します。

機能	主な諸室名	主な用途等
児童館	遊戯室	児童等の遊戯スペースします。
	遊戯室（乳幼児コーナー）	幼児用遊戯室として配置します。
	図書コーナー	遊戯室に近接して配置し、館内で閲覧する幼児書、児童書等を配架します。
	防音遊戯室	日中は思いっきり大声を出すことができる遊戯室として利用し、夜間は地域オーケストラ等の音楽活動の場として専用貸出しを実施します。
	フリースペース	児童が予約なしで勉強や読書などに使うことができる専用のスペースとします。
	事務室	児童館職員の執務室とします。
	トイレ	児童用トイレ及び多目的トイレを設置します。
公民館	滞在型図書室	学習や読書ができるスペース、読み聞かせコーナー等を備え、居心地よく感じられる場を確保します。
	保育室	公民館利用者の子どもの保育のための部屋とします。（保育利用がないときは、読み聞かせコーナーと一体で利用できるよう配慮します。）
	事務室	公民館、地区連、社協職員の執務室とします。
	給湯、授乳室	子どもの利用が増えることが想定されるため、授乳室を設置します。（給湯は授乳以外の目的での利用も可能）

(仮称) 光が丘地区複合施設整備プランの考え方

2階

公民館機能の貸室とフリースペースで構成します。フリースペースは、子ども食堂時等におけるランチスペースとしての利用も想定します。

機能	主な諸室名	主な用途等
公民館	大会議室	各種会議などに利用。放送室の撤去や可動式ステージの配置等により、有効面積の拡大を図ります。また、防音性能を向上し、鏡を設置します。
	小会議室	少人数の打ち合わせや学習活動に利用。現状と同程度の面積を確保します。
	コミュニティ室	会議や音楽活動などに利用。現状と同程度の面積を確保し、防音性能を向上します。
	多目的室	会議やダンス、体操などに利用（下足）。防音性能を向上し、鏡を設置します。
	料理実習室	調理活動や、子ども食堂の事業などの場として利用。調理台は現状どおり壁付けとすることや、フリースペースと可動式間仕切りで仕切ることにより、多目的な利用に配慮します。
	和室	畳が必要な活動に利用（下足）。現状の茶室と同程度の面積を確保します。
	給湯室	貸室利用団体等が利用可能な給湯室を配置します。

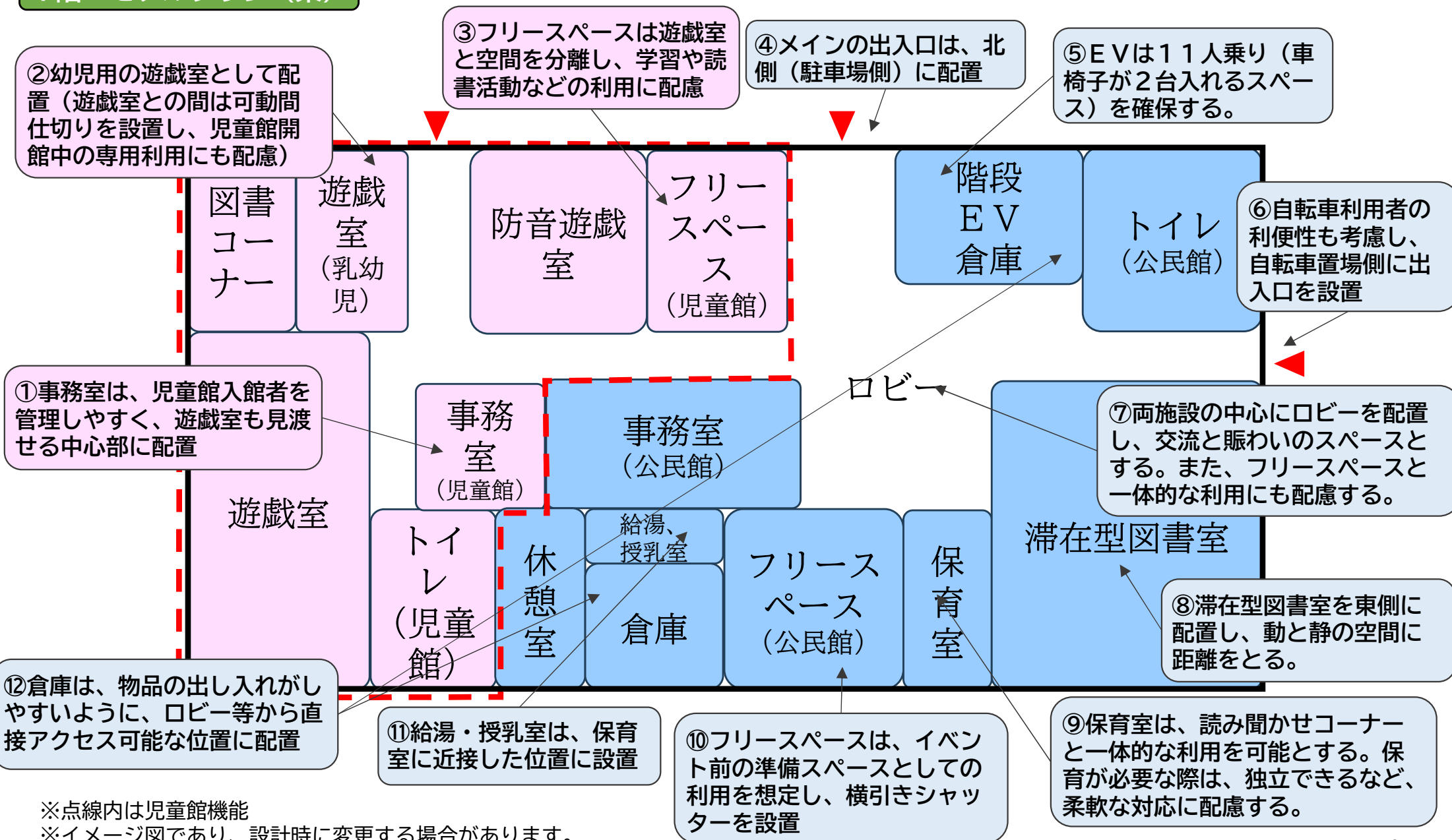
1階／2階

機能	主な諸室名	主な用途等
公民館	フリースペース	予約なしでの簡単な打合せや、料理実習室に隣接した箇所は子ども食堂でのランチスペースなどに利用できるスペースとします。
	トイレ	大人用トイレ及び多目的トイレを各階に配置します。
	倉庫、収納	公民館備品等の倉庫を各階に配置します。

(仮称) 光が丘地区複合施設整備モデルプラン (案)

1階 モデルプラン (案)

吹き出しは配置の考え方です。



(仮称) 光が丘地区複合施設整備モデルプラン (案)

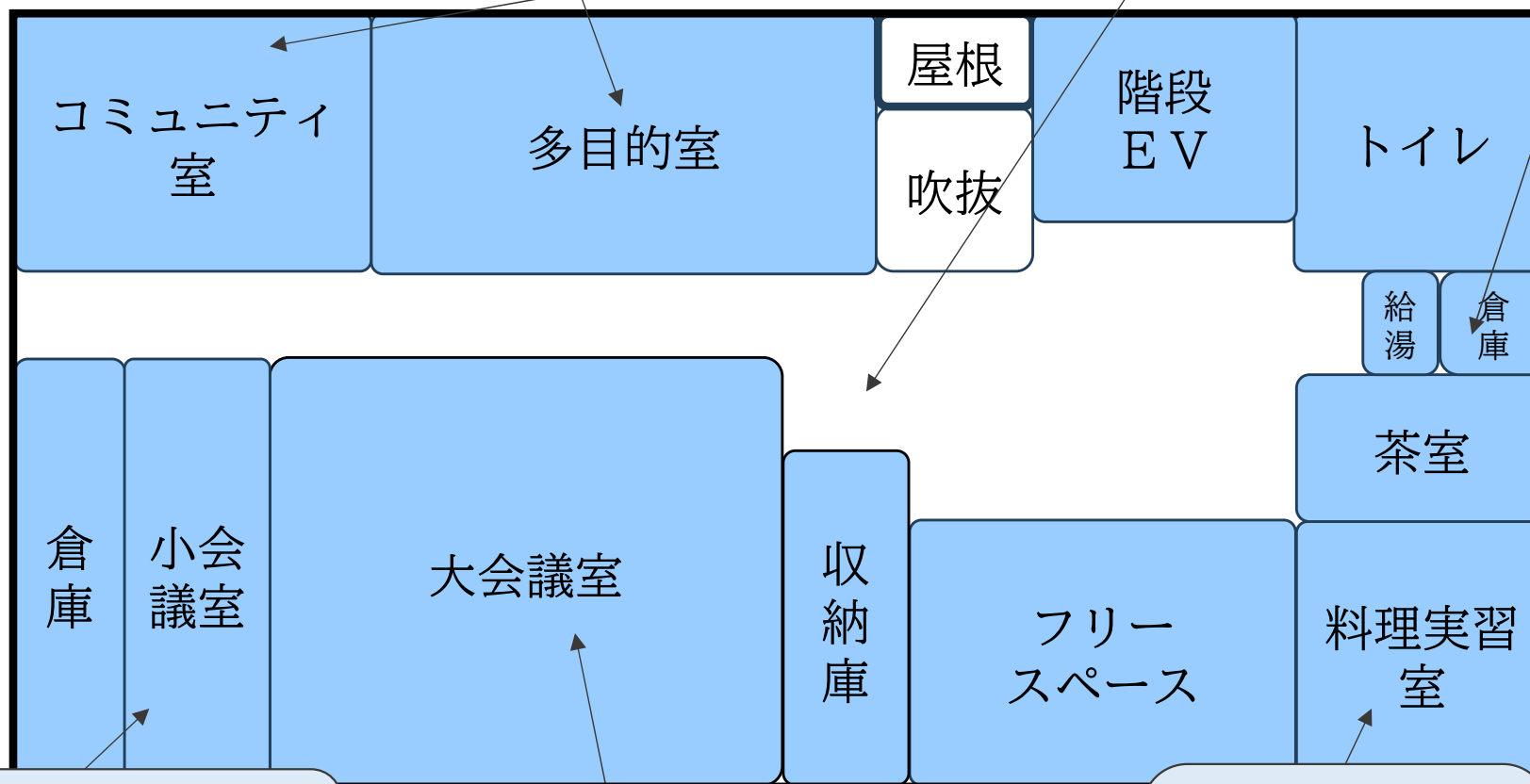
2階 モデルプラン (案)

吹き出しは配置の考え方です。

①音を出す活動での利用が多いと想定されるコミュニティ室及び多目的室は、南側に立地する住宅への影響を考慮してを北側（駐車場側）に配置

②大会議室前のスペースは、イベント時の受付設置場所等を確保

③倉庫の動線は、給湯室を通り抜ける。



⑤使いやすさや災害時の避難経路を考慮して配置。イベント時に多様な使い方を対応できるように、大会議室との間に扉を設置

④大会議室はフリースペースと隣接させることで、展示等イベントの際に連携を図る。

③料理実習室とフリースペースは、子ども食堂などでの連携した利用を考慮し、隣接して配置（フリースペースとの間は可動式間仕切り）

※イメージ図であり、設計時に変更する場合があります。

(仮称) 光が丘地区複合施設整備モデルプラン (案)

第5回 資料2(改)

【参考】各諸室の概算面積 ※基本計画策定後に行う設計において確定します。

1階

	諸室名	概算面積	現行面積
児童館機能	遊戯室	98㎡	67.08㎡
	遊戯室(乳幼児コーナー)	30㎡	—
	図書コーナー	28㎡	7.45㎡
	防音多目的室	49㎡	—
	事務室	25㎡	7.45㎡
	フリースペース ※1	38㎡	13.25㎡
	トイレ	35㎡	—
	共用部(玄関、通路等)	72㎡	—
	計	375㎡	—
公民館機能	滞在型図書室	125㎡	73.98㎡
	保育室	25㎡	37.52㎡
	フリースペース	49㎡	—
	事務室・休憩室 ※2	70㎡	99.52㎡
	トイレ	50㎡	—
	給湯・授乳室	17㎡	—
	収納・倉庫	36㎡	—
	共用部(玄関、通路、階段等)	135㎡	—
	計	507㎡	—

2階

	諸室名	概算面積	現行面積
公民館機能	大会議室(収納含む)	185㎡	171.00㎡
	小会議室	46㎡	37.10㎡
	和室(茶室)	28㎡	27.90㎡
	多目的室(収納含む) ※3	98㎡	90.56㎡
	コミュニティ室	66㎡	65.20㎡
	料理実習室	49㎡	55.60㎡
	フリースペース	73㎡	—
	トイレ	50㎡	—
	倉庫(2か所)	43㎡	—
	給湯室	6㎡	—
	共用部(通路、階段等)	206㎡	—
	計	850㎡	—

- ※1 現行面積は、だんらん室の面積
 ※2 現行面積は、第2事務室を合算した面積
 ※3 現行面積は、和室の面積

開館日及び開館時間のイメージ（案）

- ・現在の各施設の開館時間を基本とします。
- ・児童館は、複合施設としての一体性を図るため、平日の開館時間を変更します。また、時間外の貸出方法については今後検討します。
- ・グラウンドや体育室棟の地域活用は、これまでの地域開放状況、施設特性、周辺の住環境に配慮したうえで今後検討します。

	施設・機能	施設の 管理運営	平 日	土	日・祝日	年末 年始
複合施設 建設エリア	光が丘公民館	光が丘公民館 生涯学習課	9：00～ 22：00 ※1	9：00～ 22：00	9：00～ 22：00	—
	青葉児童館 （園庭を含む）	こども・若者 支援課	9：00～ 17：00	9：00～ 17：00	9：00～ 17：00	—
校舎改修 ・B棟解体工 リア	療育センター陽光園 障害者更生相談所	陽光園	8：30～ 17：00	—	—	—
	陽光台保育園	陽光台保育園 保育課	7：00～ 19：00	7：00～ 18：00	—	—
	体育館 （保育園講堂として位置付け）	こ若局	利用方法について庁内検討中			

※1 第4月曜日は休館

【参考】光が丘地区学校跡施設（青葉小学校）利 活用に係る計画目次（案）について

【参考】光が丘地区学校跡施設（青葉小学校）利活用に係る計画目次（案）

※作成中のため、変更となる場合があります。

I. はじめに

- 1 背景と目的
- 2 基本計画の位置付け
- 3 SDGsとの関係
- 4 これまでの経過

II. 現状と課題

- 1 光が丘地区の概要
- 2 事象地の概要
- 3 対象施設の概要

III. 基本方針等

- 1 基本理念
- 2 基本方針（視点）
- 3 導入機能の概要
- 4 敷地利用計画

IV. 整備計画

- 1 全体配置計画
- 2 施設整備計画の概要
- 3 改修エリア（改修棟）の整備計画
- 4 新築エリア（新築棟）の整備計画
- 5 駐車場・グラウンド・外構等の整備計画
- 6 災害時の機能
- 7 売却エリアの活用方針
- 8 維持管理・運営体制等
- 9 事業手法
- 10 想定事業費
- 11 事業の効果
- 12 スケジュール

検討会で検討又は意見交換、説明等を行った箇所（一部を含む）

下線部 検討会で意見交換を行った箇所（一部を含む）

網掛け 検討会で検討を行った箇所